

二中の木

学校報
第8号
H27/08/25



能代市立
能代第二中学校

◇能代第二中学校の次なるステージ いよいよ、『開幕』です！

笑顔、そろいました！

休み前の第七号で、「元気な笑顔で、みんなそろって休み明けの初日を迎えたい。」と書きました。どうやらその願いがかなったようです。こんなにうれしいことはありません。
みんながそろった校舎には、元気な声があります。にぎやかな活気があります。
自分を大切に、命を大切に、二中生が、元気な笑顔で前期後半のスタートを切ることができました。



前期後半に期待すること

下の段に載せた『思い定める夏』は、

〜夏休み中も

「自主 不屈 友愛」で

思いさだめる夏

思い定めて頑張りよう
〜二中 三つの合言葉〜

○自主 宿題には攻めの姿勢で
※守りては気力は生まれにくい

○不屈 誘惑に負けない正しい目と
※行動には慎重さを欠かせず

○友愛 友と自分を粗末にせず
※思いやりが自らと育てる

夏休み中も校訓の精神に基づいて生活と学習に臨んでもらいたいと第七号に載せたものでした。
自分の夏休みがどんなものだったのか、しっかりと整理して後期後半

を迎えたいと思います。
秋は、田んぼで言えば稔りと収穫の時期です。二中生一人一人がしっかりと成長し、自分自身でも確かに成長できた実感できるようにならないといけません。実感こそ次のステップへの意欲となります。実感が得られるまで、自分に厳しく頑張りましょう。

『習う』ことの大切さ

どのスポーツも一生懸命に自分自身を厳しく鍛えるものです。日本の武道は、特に精神と技が一体となることに

四つの『習う』

- 一、師に習う
- 二、友に習う
- 三、己おのれに習う
- 四、場ばに習う

力を入れ、稽古と呼んで互いを鍛え合います。

ところで、「学ぶ」と「習う」の違いがあるので、同じような意味で使われる場合もありますが、「習う」には、「習う」相手や事柄への強い思いを感じさせる響きがある気がします。

上段は、剣道で使われることがある『四つの習う』です。

「師に習う」ということ

自分から求めるものがある人、こういうことができると願う人にとつては、先生の言葉や指導、手本といったことが素晴らしい価値を持ちます。習う姿勢に積極性を欠いてはいけません。



「友に習う」ということ

身近な友に、自分のなりたいたい姿を重ねると言うことで。うらやましますが、ただではいけません。努力しないう者同士で慰め合うだけでもいいかもしれません。高め合うことができる友に習ってください。



「己に習う」ということ

昨日の自分自身をしっかり見つめ、
【裏面へ続く・・・】

昨日の自分自身を乗り越えようと言っ
とです。自分自身に克つ、と言っ
てもありません。



「堪に習つ」ということ

みんなが注目する中での発表、疲
れて眠い時の勉強、緊張で逃げ出
なりそうなた試合・・・弱い自分
に負けそうになったり、カッコ悪
い自分を



から目を背けたくなく
てもよければ、ま
でもよければ、ま
うやした、ねこ
面そやした、ねこ
を鍛え自分分
を鍛え自分分
と考える

ことが必要です。
四つの「習う」に、前期後半を充
実させるためのポイントがあります。

【おわり】

平成27年度二中祭

2015/08/30 (日)

「INFINITY」～無限に広がる僕らの世界～

展示・喫茶・イベント・ステージ発表 内容充実!

有志有途を掲げる生徒会が地域への感謝の気持ちで開催します。お待ちしております。